

令和4年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

| | | |
|---------------|------------------------|------------|
| 団 体 名 | 公益財団法人足利市みどりと文化・スポーツ財団 | |
| 施 設 名 | 足利市民プラザ | |
| 助 成 対 象 活 動 名 | 公演事業・人材養成事業・普及啓発事業 | |
| 内 定 額 (総 額) | 24,408 | (千円) |
| | 公 演 事 業 | 9,674 (千円) |
| | 人 材 養 成 事 業 | 8,560 (千円) |
| | 普 及 啓 発 事 業 | 6,174 (千円) |

(1) 令和4年度実施事業一覧【公演事業】

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|--|-------------------------|---|----------|-----|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 文化芸術の現代版「足利学校」～アートでつなぐ、学びのころ～ 足利ミュージカル 第9回定期公演 | 令和4年10月30日 | 演目：『足利伝説』～足かがみ姫とヤマトタケル～ 出演：足利ミュージカル、光海あきほ ほか | 目標値 | 500 |
| | | 文化ホール | | 実績値 | 483 |
| 2 | 文化芸術の現代版「足利学校」～アートでつなぐ、学びのころ～ 足利オペラ・リリカ 第9回定期公演 | 令和5年1月22日 | 演目：ジャンニ・スキッキ(全1幕) / 道化師(全2幕) 出演：小林大祐、大隅智佳子 ほか | 目標値 | 410 |
| | | 文化ホール | | 実績値 | 302 |
| 3 | N響プロジェクト2022 | 令和4年6月5日 令和4年5月16日 | 曲目：ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68 指揮/秋山和慶 ソリスト/荒井里桜 | 目標値 | 640 |
| | | 文化ホール 市内幼稚園 市内小学校 | | 実績値 | 807 |
| 4 | フィルハーモニーオーボエ・カルテット with 佐渡裕 | 実施中止 | | 目標値 | 650 |
| | | | | 実績値 | ※ |
| 5 | 第1回足利狂言「万作・萬斎の会」 | 令和4年9月19日 | 演目：舟渡聲・釣針 出演者：野村万作、野村萬斎 ほか | 目標値 | 580 |
| | | 文化ホール | | 実績値 | 806 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和4年度実施事業一覧【人材養成事業】

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|--|------------------------|---|----------|-----|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 文化芸術の現代版「足利学校」～アートでつなぐ、学びのころ～ 足利ユースオーケストラ 2022 | 令和4年4月2日～ 令和5年3月18日 | 曲目：モーツァルト/交響曲第29番、 シュトラウス二世/ワルツ「春の声」 指揮：工藤俊幸 講師：風岡優ほか | 目標値 | 60 |
| | | 文化ホール 市民プラザ別館 | | 実績値 | 52※ |
| 2 | 文化芸術の現代版「足利学校」～アートでつなぐ、学びのころ～ 足利ミュージカル研究科 第11期 | 令和4年6月4日～ 令和5年2月19日 | 演目：オズの魔法使い、ジャズダンス、 タップダンス ほか 講師：小嶋希恵、鳳樹いち ほか | 目標値 | 35 |
| | | 文化ホール 小ホール等 | | 実績値 | 38 |
| 3 | 文化芸術の現代版「足利学校」～アートでつなぐ、学びのころ～ 足利オペラ・リリカ 研究科 第11期 | 令和4年6月8日～ 令和5年3月24日 | 曲目：マスカーニ/オペラ《友人フリッツ》 ハイライト公演 ほか 講師：大隅智佳子、小林昭裕、原純 | 目標値 | 5 |
| | | 文化ホール 小ホール、別館等 | | 実績値 | 3 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和4年度実施事業一覧【普及啓発事業】

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|---|---------------------|---|----------|---------------------------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 小中学校芸術教室・鑑賞プログラム 中学校演劇教室 | 令和4年7月6日・7日 | 演目：里見八犬伝 出演：足利ミュージカル、遠山裕介、佐久間雄生、柴咲大佳 ほか | 目標値 | 13校 |
| | | 文化ホール | | 実績値 | 11校 |
| 2 | 小中学校芸術教室・アウトリーチプログラム 小学校高学年 出前コンサート (音楽・伝統芸能) | 令和4年5月6日～12月19日 | 出演：足利カンマーオーケスター、足利オペラ・リリカ、和太鼓集団黎明座、足利市八木節連合会ほか | 目標値 | 13校 |
| | | 市内小学校 | | 実績値 | 24校 (延べ) |
| 3 | 小中学校芸術教室・アウトリーチプログラム 小学校(高学年)演劇ワークショップ | 令和4年6月6日～11月29日 | 演目：フレンドライクミー ほか 出演：足利ミュージカル | 目標値 | 10校 |
| | | 市内小学校 | | 実績値 | 12校 |
| 4 | 子ども伝統芸能総合プロジェクト「地域伝統芸能体験成果発表会」 | 令和5年1月9日 | 出演：あしかが子ども歌舞伎、伝統文化子ども八木節教室、群馬県立桐生清桜高等学校 ほか | 目標値 | 入場者数 200名・参加者数 80名 |
| | | 文化ホール | | 実績値 | 入場者数 348名・参加者数 115名 |
| 5 | 足利カンマーオーケスター ファミリープログラム | 令和4年10月9日～令和5年2月4日 | 演目：ヴィヴァルディ/四季より「秋」、むすんでひらいて ほか 出演：足利カンマーオーケスター | 目標値 | 230 |
| | | 文化ホール・小ホール 山辺公民館 | | 実績値 | 317 |
| 6 | 足利オペラ・リリカ ファミリープログラム | 令和4年7月17日～令和5年2月22日 | 演目：信長貴富編/ジングルベル、滝廉太郎/、花うたあそび ほか 出演：足利オペラ・リリカ | 目標値 | 60 |
| | | 文化ホール・小ホール 助戸公民館 | | 実績値 | 305 |
| 7 | 第36回人形劇こどもフェスティバル | 令和4年7月3日 | 出演：ふきだま屋、人形劇団むすび座、えんがいほいくえんにやにゆによ、人形劇サークルやじろべえ ほか | 目標値 | 1,000 |
| | | 市民プラザ全域 | | 実績値 | 666 |
| 8 | 足利市民プラザ附属シニア劇団「燦SAN」 | 令和4年6月19日～令和5年2月26日 | 演目：ペーパーバックストーリーズ、夏の終わりの怪談話 出演：「燦SAN」「SANネクスト」 | 目標値 | 1,000 |
| | | 文化ホール・小ホール | | 実績値 | 705 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

| 自己評価 |
|---|
| 社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。 |
| <p>当館は①文化芸術の鑑賞・体験・創造ができる場、②文化芸術を通して交流ができる場、③子どものための文化芸術の場という以上3つの役割を果たすべく事業を推進しています。</p> <p>上記の役割を果たすべく、次のとおり地域の特性を活かして事業を展開しております。</p> <p>①NHK 交響楽団との連携により、近隣地域では足利市でしか鑑賞できない公演と幼稚園や小学校へのアウトリーチ事業の実施</p> <p>②地域で活動している当館の芸術団体による市民参加型公演や、子どもから大人まで参加できるアウトリーチ事業の実施</p> <p>③当館の芸術団体による子どもを対象とした人材養成事業や、子どもから大人まで参加できる普及啓発事業の実施</p> <p>以上の3点の事業計画は、芸術監督や市民が参加する運営委員会、企画選定委員会、理事会を経て決定されます。つまり、地域のニーズや文化芸術の専門家等の意見を取り入れて事業の計画を立てております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、公演事業 4 の中止や人材養成事業 1 の休講などがあり、一部計画通りに実施することはできませんでした。しかしこれらの判断は、地域の参加児童や保護者の意見や感情に寄り添うかたちで行われたものです。このことからコロナ禍においても、文化芸術を通じた地域とのつながりは依然として保つことができたと考えられます。</p> |
| 助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。 |
| <p>① 文化的意義</p> <p>世界最高峰の芸術団体だけでなく、地域を拠点にして活動している芸術団体の双方を実施することができ、「文化芸術を身近に感じた」などのアンケート結果(52.1%)を得ることができました。また N 響や万作の会の来場者のなかには、小学校時の芸術鑑賞教室をきっかけに来場した人がおり、足利市と当館が長年取り組んできたことの結実がみられました。</p> <p>② 社会的意義</p> <p>文化芸術を「いつでも」「誰でも」「気軽に」参加・鑑賞できるよう、年間を通して、未就学児から大人まであらゆる人を対象とした事業を展開しています。0 歳から鑑賞できるコンサート(普及啓発事業)、小学生から大人まで参加できる人材養成事業、足利市だけでなく県外からの来場も多い公演事業と、世代・地域問わず包括的に鑑賞・参加・交流ができる事業を展開し、地域の活性化に寄与しているといえます。</p> <p>③ 経済的意義</p> <p>公演事業 1 では足利市の由来を題材にした演目を上演しました。その際、足利市の由来に因んだお土産をロビーで販売したところ完売となりました。このほか、ケータリング等を足利観光協会やあしかがフィルムコミッションと連携して準備しました。このように当館と地域各所とが文化芸術を介して連携することで、足利市の地域経済に寄与するとともに、足利市の名産や特徴を足利市内外に周知することができたといえます。</p> |

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

いずれの事業も目標は昨年度の実績とコロナ禍の影響を鑑みて設定しました。

<公演事業> ※1・満足度の目標値は 80% ※2・来場者の目標値は市内・市外のどちらかの来場が最低 40%

| 番号 | 目標 | 実績 | 関連事業 | 達成 | 満足度 | 達成 | 来場者 | | 同行者 | | |
|----|-----|-----|------|----|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | 市内 | 市外 | 家族 | 友人 | 一人で |
| 1 | 500 | 483 | 12 | × | 98.9% | ○ | 52.8% | 47.2% | 57.4% | 32.0% | 10.6% |
| 2 | 410 | 302 | 90 | × | 93.3% | ○ | 45.5% | 54.5% | 73.0% | 13.5% | 13.5% |
| 3 | 640 | 807 | 167 | ○ | 86.7% | ○ | 53.0% | 47.0% | 66.3% | 19.8% | 13.9% |
| 4 | 中止 | | | | | | | | | | |
| 5 | 580 | 806 | 120 | ○ | 96.4% | ○ | 53.0% | 47.0% | 61.6% | 24.5% | 13.9% |

来場者の目標(事業 1 と 2)のみ達成することができませんでしたが、それ以外は全て達成することができております。このことから最高峰の芸術と地域芸術団体の芸術のどちらも、①足利市内だけでなく足利市外の人にも鑑賞していただき、②来場者の 80%以上が当施設で家族・友人と一緒に満足度の高い時間を過ごしていただいたということが言えます。

以上の文化芸術を通して足利市の芸術的な魅力と歴史・観光的な魅力の両方の事業を、行政区域を越えて多くの人々が体験・共有したということから、「当施設が文化芸術を通じた足利市の魅力の発信と人々の交流の場となる」というミッションを達成することができました。

<人材養成事業>

事業 2 のみ参加者数の目標を達成することができました(目標:35 名・参加者 38 名)。これは当館の芸術団体である足利ミュージカルの団員が講座のサポートに入ったことで、講師の伝えたいことや参加児童の疑問および保護者の気持ち・考えなどを共有しやすくなったためと考えられます。なぜなら、足利ミュージカル団員もかつては研究科生であることから双方の立場がわかるためです。つまり、地域の芸術団体が長年活動することで、地域の子どもたちが楽しく文化芸術に触れる場をつくりだしているといえます。

また、芸術団体のサポーター・支援者の目標(コロナ禍以前の水準への回帰)はいずれも達成できませんでした(各事業の達成率…事業 1:78.7%、事業 2:66%、事業 3:21.8%)。

以上のことから、①コロナ禍以降における活動 PR 不足、②コロナ禍により地域の人々の意識や状況が変化したことによる対応の遅れなどが推察されます。そのため現在、運営委員会との PDCA の場で、サポーター制度の見直し・改善を行っています。

<普及啓発事業>

小学校との事前会議にてコロナ禍の状況下でどのようにアウトリーチを実施していくのかを説明・協議した結果、参加希望校は目標数を超え、コロナ禍以前より増加しました。

※目標…音楽・伝統芸能 13 校 → 参加 24 校 目標…演劇 10 校 → 参加 12 校

なかには音楽・伝統と演劇の複数のアウトリーチに参加する学校もありました(全 22 校中 13 校)。またアンケート結果でも、音楽・伝統芸能の満足度は 80%・演劇は 100%、また「内容が参加児童に合っている」との回答が音楽・伝統芸能は 85%・演劇は 90%ありました。

参加校の 55%は参加理由に「前年度の内容に満足」を挙げており、本事業の需要が高いことがわかります。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

新型コロナウイルス感染症の影響により、公演事業 4 は実施中止となりました。また、普及啓発事業においても、予定していた福祉施設へのアウトリーチコンサートや学校へのクリニックなどは、実施中止となりました。

人材養成事業 1「足利ユースオーケストラ」の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が秋口頃までは少なく、参加者のいないパート(特に管楽器)もありました。オータムコンサートや関連ワークショップおよび練習見学(随時実施)の成果により、参加者が増加しましたが、最終的な参加者数は目標に届きませんでした。しかし、①コロナ禍でも年間活動できることが参加者・保護者・講師・足利市民と共有できたこと、②本年度の経験をもとに足利市近郊の中学校・高等学校との課外活動連携への呼びかけなど、コロナ禍を経ることによって団が一体となり、継続的な活動につながりました。

上記以外の事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、概ね事業を予定通り実施することができました。

普及啓発事業2と3の足利市内小学校アウトリーチでは、実施できる体験プログラムと実施できない体験プログラムを小学校との事前会議で調整していたことから、スムーズにアウトリーチを実施することができました。むしろ当日、学校側の要望により体験プログラムへの変更や参加学級の追加(昼休み中にアウトリーチの準備の様子を覗いていた児童が先生に相談したようです)があり、児童が満足する形での変更もありました。



▲出演者(左)と様子を見に来た児童(右)との交流

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

公演事業は目標達成できた事業が4事業中 2 つであり、達成率の平均は 108.8%

人材養成事業は目標達成できた事業が 3 事業中1つであり、達成率の平均は 85.2%

普及啓発事業は目標達成できた事業が 8 事業中 6 つであり、達成率の平均は 125.9%

上記のような目標達成状況に対して、事業費は下記のとおりでした。

公演事業 4 が中止となったほか、人材養成事業 1「足利ユースオーケストラ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が秋口頃までは少なく、参加者がいないパート(特に管楽器)もありました。また年度末は受験などで休団する参加者もあり、その結果、約半年分の講師に係る費用(実技指導料および交通費)が減少となりました。

上記の新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業以外は、要望額の 89.9%の執行状況であったことから、ほぼ予定どおりなおかつ効果的に事業を進めることができたといえます。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

【NHK 交響楽団と連携した事業】

足利市は NHK 交響楽団と準・フランチャイズ契約を結んでおります。これにより定期公演だけでなく、市内の小学校や定期公演に入場が困難な幼稚園・保育園にアウトリーチを毎年実施することができます。特にアウトリーチでは、クラシックの名曲のほかにポピュラー音楽の演奏や校歌の演奏、楽器紹介をクイズ形式で行うなど、児童の関心を高めることができました（「演奏のマネをする子どもがいた」「楽器の名前を反芻する子どもがおり、音楽の時間のやる気があがった」などの感想を実施先から得られました）。このような取り組みにより、未就学児から幅広い年代の人が世界最高峰の音楽に触れることができるようになっております。

またこのような NHK 交響楽団のアウトリーチの取り組みを、地域の芸術団体による未就学児向けのコンサートなどに活かしています。これにより、年間を通して地域の親子が「いつでも」「気軽に」文化芸術に触れることができるように事業を展開することできており、その結果、「魅力的なプログラムだった」(52%)、「家族と一緒に過ごせる良い機会だった」(72%)、「年 4 回以上開催して欲しい」(50%)などの好評価を得ることができました。

【地域の芸術団体による地域資源を活かした事業】

当館には芸術団体「足利カンマーオーケスター」「足利ミュージカル」「足利オペラ・リリカ」と「足利ユースオーケストラ」「シニア劇団「燦 SAN」」があり、音楽監督および芸術監督と足利市周辺地域の団員が幅広い活動をしています。公演やワークショップ、アウトリーチのほか、市内小学校・中学校の児童・生徒を対象とした芸術鑑賞会や特別音楽授業、部活動に対するクリニックなど、公演・人材養成・普及啓発活動を総合的に行っています。

特に「足利ミュージカル」は足利市の名前の由来を題材にした公演（「足利ミュージカル第 9 回定期公演『足利伝説』～足かがみ姫とヤマトタケル～」）を実施しました。これは、令和 3 年度の足利市制 100 周年を機に、足利市ゆかりの画家である川島理一郎や田崎草雲などの地域資源を題材にした公演が好評（満足度 95.5%と過去最高値）であったことから、令和 4 年度以降は積極的に足利市の魅力を文化芸術によって足利市内外に PR するという方針が新たに示されことによります。

令和 4 年度も引き続き足利市文化課および足利市立美術館などから資料を提供してもらうなどの協力を得るほか、今年度の公演演目と同様に足利市の名前の由来に因んだ名産品（お菓子）をホール内で販売するなどの地域の飲食店等の協力も新たに得ることができました。これらは、約 10 年にわたり足利市を拠点に文化芸術を継続的に発信し続けたことで、地域に受け入れられた結果、今回のような関係各所から協力を得ることができたといえます。



足利の地名に因んだお菓子は公演の休憩時間で完売▲

上記のような取り組みの結果、「足利市の歴史・文化・芸術に関心を持った」(54.5%)の回答がありました。なかには足利市外だけでなく、足利市内の来場者からも「あまり気にしていなかった足利の歴史を知ることができた」などの回答もあり、「今後とも同様の取り組みを期待する」が 41.7%という結果になりました。

以上のことから、当館は地域資源を活かして、足利市の歴史および文化芸術を足利市内外に発信することができたといえます。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

【地域の芸術団体に対する SNS 上の関心が増加】

当館の SNS (twitter および Instagram) のフォロワー数の増加量が、令和 3 年度は年間で 56 名増であったものが、令和 4 年度は 104 名増と大幅に増加しました。またインプレッション数(当館の投稿の SNS 上での表示回数)にも次のような変化があらわれました。例年 NHK 交響楽団などの事前告知投稿のインプレッション数が増加する傾向のなか、令和 4 年度は新たに地域の芸術団体「足利オペラ・リリカ」の定期公演の事前練習動画も先述と同様のインプレッション数という結果になりました。この地域の芸術団体だからこそできる舞台裏や本番に向けての取り組みの公開が、多くの共感と関心を得られたと考えられます。

【当館の芸術団体に対する地域の反応】

子ども向けの人材養成ではいずれの芸術団体も約 10 年活動し続けているため、大人からはその上達の過程を見守るような感想が多く、また子どもからは「同じ年の子が舞台上に立っていてすごい」など感想も得られました。大人も子どものどちらも 52.1% が子どもたちの公演を通して文化芸術活動に関心を持たれたとの回答が得られていることから、当館の芸術団体は地域一体で継続的に活動ができているといえます。

一方シニア劇団「燦 SAN」に対しては、「表現することに年齢は関係なくいつでも始められる勇気をもらった」「言葉に長年の重みがある」など、シニア世代ならではの感想があり、文化芸術に関わるのにはいつでもできることを地域の人々に伝えることができました。

【子どもとの関わりが地域の芸術団体の普及啓発の機運を高めた】

普及啓発事業 4 子ども伝統芸能プロジェクトは、参加団体数および来場者数がほぼコロナ禍以前の水準に戻りました。これは普及啓発事業 2 足利市内小学校アウトリーチプログラムとの連携が要因と考えられます。

本事業は地域の伝統芸能(雅楽や八木節、和太鼓など)を子どもたちへ継承している団体が1年間の活動成果を披露するとともに、当館と連携して地域の伝統芸能の普及啓発に協力を得られる団体を募る機会でもあります。今年度は参加団体の約半数の団体が小学校アウトリーチプログラムに出演しました。なかでも八木節は運動会で披露することがあり、運動会前にアウトリーチを実施する小学校が多くありました。小学校から「運動会の八木節と振り付けやリズムが異なり、歴史を感じました」「普段は話をしない友達と仲良くなれた」などの感想を得られました。また、参加団体で活動している児童がアウトリーチの講師役を務めることもあり、「児童の普段教室ではみられない様子がみられ、帰りの会になっても話題になったり、演奏のマネをしたりしていた」などの感想が得られました。これらのことから、長年継承してきた出演者と児童と一緒に体験することや、参加団体の児童が自身の言葉で伝統芸能の魅力を同級生に語り、見せたことが、小学校に対する普及啓発に効果的であったとことがわかります(伝統芸能をやってみたくて回答した児童が 70%)。



参加団体の児童が伝統芸能の講師役に(右側)▲

以上のように参加団体の活動だけでなく、当館と足利市内小学校との連携活動を通してアウトリーチプログラム(事業 4)を 1 年通して実施したことが、参加団体の地域の伝統芸能の普及啓発の機運を高めることになり、その結果、事業 2 でワークショップの開催を参加団体が提案したことに繋がったと考えられます。

(5) 持続性

自己評価

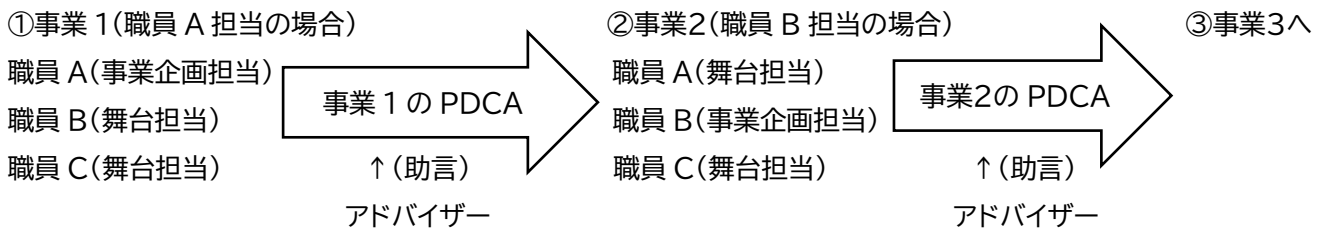
事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

【事業全体をみることができる人材の育成】

当館は事業企画担当が舞台運営も兼任しています。これは事業全体の流れを各職員が把握できるように異なる役割を経験することで、相手の立場を想像するよりも正確に事業のPDCAを実施するためです。

また、全体的な視点を取り入れるため、館長級の役職を経験した職員に、事業アドバイザーや施設管理アドバイザーをお願いし、後進の育成に取り組むことによって、継続的な組織運営を努めています。

図 5-1:事業 PDCA の流れ(例)



【PDCAに市民が参加することで、地域のニーズに応える事業を】

市民の関わりが強い事業については、参加した市民や出演した市民も交えた下記のようなPDCAを実施しています(特に普及啓発事業である子ども伝統芸能プロジェクト、0歳もいっしょに！はじめてコンサート、人形劇こどもフェスティバルなど)。

- ①P…当館の調査から地域のニーズや課題を想定し、それに応えられると仮定した事業を計画します。
- ②D…出演者と事業の趣旨・目的を共有しプログラムを計画・修正し、実施します。
- ③C…アンケートや聞き取りにより、当初の想定との差異、新たな課題や改善点などを把握します。
- ④A…Cにより得られた地域の人々の意見を、当館や事業の目的に照らし合わせたうえで、実現可能性の高い順に随時改善していきます。

出演者の子どもが司会者となり、出演者と鑑賞者が円になって和太鼓体験▼

例えば、子ども伝統芸能プロジェクトでは、出演した市民団体から「伝統芸能の楽器体験を公演後の舞台上で実施することによって、『伝統芸能に触れる体験』と『舞台上に立つ経験』の両方を得られ、次の出演等に繋がるのではないか」という意見を取り入れた結果、当初想定した子ども以外の大人の体験者もあり、好評価を得ることができました。0歳もいっしょに！はじめてコンサートで



は、参加保護者や足利ユースオーケストラの保護者などの子育て世代の声によりプログラムの提案や会場環境の向上(やわらかいマットの導入やベビーカーの親子が鑑賞しやすい場所など)を図りました。その結果、定員を超えるほどの参加者がみられるようになりました。また、人形劇こどもフェスティバルでは、今年度の来場者の様子から、当館で親子に1日を楽しく過ごしてもらうためにチケット変更の提案や、地元メディアや商業施設とのより強固な連携を買って出る市民も現れました。

いずれも事業もその継続のために、事業の市民参加者・参加者がPDCAのサイクルに参加し、地域のニーズにさらに応えられるよう努めています。